

母ちゃんとぼく

神奈川県 川崎市立東菅小学校 六年

木村 きむら
守 まもる

せんたくをたたむお母ちゃん

ポツリ、つぶやいた。

また、かたつぽないな。

いつも、いなくなる、くつ下

ふしぎな顔でみつめてる。

ぼくの家の「くつ下ひなんボックス」

かたつぽになったくつ下が

さびしそうに入ってる。

母ちゃんは、さがさない。

そのうちみつかるよ。と

ポイツとくつ下ひなんボックスへ投げる。

母ちゃんは気にしない。

イライラしちゃうから

怒ってる時間がもったいない。

働く女はいそがしいのよって

「相棒」ばかり見てるくせに。

みつけたら、自分で取りに行く

うちのルール、ザックリだ。

ズボンはいたら、

足と一緒にできたくつ下

ヤバイ、怒られる。

ぼく、やっちゃったかな

でも、大丈夫。

くつ下ひなんボックスから

自分で取って、しらんぷり

母ちゃんは気にしない。

ペルテスが治って自由になったぼくは

じいちゃんとサイクリング

ばあちゃんとお茶会

父ちゃんとお風呂

兄ちゃんとケンカ

そして、イヤイヤのじゆく

働く女の母ちゃんよりいそがしいんだ。

母ちゃんに怒られてるヒマはない。

楽しさいっぱい、夢いっぱい。

一人で、もう、大丈夫。

母ちゃん、おつかれさま。